

防災部活動レポート

2月6日
荒川区中学生
防災対策会議

各中学校の防災部の代表が集まり、平成29年度荒川区中学生防災対策会議が開催されました。当日は、いのちを守る@プロジェクトJAPANの高員正芳さんを講師に迎え、震災発災時や避難時における状況でどのような行動をとるか考える防災シミュレーションゲームにグループで挑戦し、話し合いや発表を行いました。



高員さんの質問に積極的に手を挙げる防災部員たち

南千住野球場で「あらBOSAI 2018」が開催されました。当日は、全区立中学校の防災部が集まりました。防災体験プログラムの運営では、日頃の活動の成果を発揮することができました。

3月3日
あらBOSAI
2018

消防署の職員さんに見守られながらD級ポンプのエンジンのかけ方を披露



災害時の応急手当の方法を説明する防災部員

組み立ては任せて! 普段はベンチ 災害時はかまどに



平澤映人くん



防災普及指導員さんから最初にねじのはずし方など、かまどベンチの組み立て方の説明を聞きました



ベンチの座面を持ち上げる時に、思わず「うわっ、重い」と声が上がりました。二人で力を合わせてベンチの座面を外します。災害時は仲間同士の協力がとても重要です



かまど完成!!

指導を受けながらも、自分たちでかまどを組み立てることができました! 力仕事も大丈夫!



毛布を使って 簡易担架 づくりに挑戦

救急用の担架がない時は、身の回りのものを使って担架の代わりにします。今回は、毛布を巻いて持ち手にする簡易担架を体験しました



毛布の端をきつく巻くのが重要

増田元哉くん

安心して使える マンホールトイレ

組み立てた簡易トイレの上に全員で協力してテントを設置。「ボールの組み立てが難しかったけど、みんなで作業すれば大丈夫。コツをつかんだよ!」



「災害用トイレ」の文字が目印



これでパッチリ 安心だね

山崎日南太くん



原中学校防災部のジュニア記者と防災課の植村浩司さん

力仕事や難しい作業も チームワークで序 今回、ジュニア記者を指導してくれたのは、防災課の植村浩司さんと防災普及指導員さんたちです。「けが防止のため、服のファスナーを上まであげて、手袋のベルトもしっかり締めましょう」。安全面の確認を行うと、ジュニア記者の気持ちも引き締まりました。最初は、かまどベンチの組み立てに挑戦。座面を脚部から外し、中にセットさ

れたかまど部分を組み立てます。力のいる仕事ですが、声を掛け合っかまどが上がるようになりました。「公園のベンチがかまどにもなるなんてびっくり。ここで体験したから、いざという時は組み立てを手伝えるね」と、頼もしいジュニア記者。次に体験したのは、マンホールトイレの設置です。テントのポールを組み立てて苦労しましたが、自分の作業が終わるとすぐに他の人を手伝うなど、チームワークで乗り切りました

このマンホールトイレは、防災井戸の水が流せません。臭いの心配がなく、快適に使うことが出来ます。体験を活かして 地域で活躍したい 救助活動の一つとして体験したのが簡易担架です。人を乗せた毛布の端をくるくると巻いて持ち手にして運びます。毛布の端を持ちやすいように巻きますが、「ゆるく巻くと、持ち上げられないよ」と注意され、もう一度しっかりと巻き直しました。

出来上がった担架で「1、2の3」と声を合わせて救助者を運び出しました。防災課の皆さんの指導のもと、防災設備の使い方や救助活動を体験したジュニア記者たち。「災害時はここで学んだことを活かして、避難所で活動したい」「トイレやベンチの新しい機能に驚いた。これからも勉強していきたい」と、防災への意欲を語ります。皆さん、防災についての知識を深め、災害時に正しく行動できるように心がけましょう。



災害時の活動を体験

災害が起こった時に、自分の身を守り周囲の人の助けとなるためには、日頃から自分たちができる活動を確認しておくことが大切です。そこで原中学校防災部のジュニア記者が、ゆいの森芝広場に設置された防災設備の使い方や救助活動を体験しました。

懐かしいあの日あの時 思い出写真館

No.42 起震車の初出動

昭和54年に町内会の防災活動で起震車が初出動した時の写真です。大勢の方が集まっている様子が確認できます。起震車は現在も、さまざまな防災活動の場に派遣され、多くの方が体験しています。



現在の起震車と形が大きく異なります

まだまだある! 区の防災の取り組みを紹介します!

起震車体験

区の起震車は、最大震度7までの揺れを体験できます。起震車を体験し、揺れを知っておくことで、実際の行動が変わります。

防災無線

区内104か所に設置した屋外スピーカーから、災害時の情報や避難勧告などを発信します。屋外スピーカーは学校や児童遊園などに設置しています。発信した内容は、ケーブルテレビなどでも確認できます。

備蓄倉庫

区内にある備蓄倉庫には、食料や飲料水、生活用品、医薬品、組み立て式トイレなどを保管し、災害時に備えています。種類ごとに整理整頓しており、すぐに取り出せます。

防災アイテム

災害時の広域避難場所・一時集合場所などを示した防災地図(全域版・水害版など)や、避難場所の確認・安否確認を電子メールで確認できる荒川区防災アプリがあります。

荒川区防災アプリのダウンロードの方法

AppStore、GooglePlayから

「荒川区防災アプリ」で検索するか、右のQRコードを読み取ってご利用ください

※ダウンロードは無料です(通信料は本人負担)

荒川区防災アプリのダウンロード方法

AppStore用QRコード

GooglePlay用QRコード

役立つアイテムは日頃からチェック!

草刈香穂さん